

別 紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措 置 名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要した 経 費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	姫田線改良事業	新発田市	6,836,400	6,622,000	

II. 事業評価個表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	姫田線改良事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		新発田市		
交付金事業実施場所		新発田市 岡田地内		
交付金事業の概要	姫田線は県道間を結ぶ市道です。近隣集落の生活道路としての利用のほか、周辺地域から市街地への移動経路として活用されていますが、幅員が4.0～4.5m程度しかないため、一般車両の相互通行や有事の際の緊急車両の通行に支障をきたす状態です。これを解消するために舗装幅員で標準6.5m(1車線2.75m)へ拡幅改良を行うものです。今回は未整備区間約720mのうち60mの整備を行います。			
総事業費	6,836,400	交付金充当額	6,622,000	
		うち文部科学省分		
		うち経済産業省分	6,622,000	
交付金事業の成果目標	姫田線は県道間を結ぶ市道ですが、幅員が4.0～4.5m程度しかないため、一般車両の相互通行や有事の際の緊急車両の通行に支障をきたす状態です。舗装幅員で標準6.5mへ拡幅改良工事を行うことにより、道路を通行する際の安全性と利便性を確保します。			
交付金事業の成果指標	上記成果目標を達成するため、平成27年度から工事を開始し、平成36年度までに舗装幅員で標準6.5mへの拡幅改良工事を完了させる予定です。平成29年度末時点で予定区間900mのうち、240mの工事が完了しており、進捗率は27%です。			
交付金事業の成果及び評価	今年度の工事は平成29年12月25日に完了しました。これまでに工事を完了させた区間において舗装幅員で標準6.5mが確保され、一般車両及び有事における緊急車両の相互通行が容易になりました。来年度以降も引き続き道路改良工事を行い、住民生活の利便性と安全性の確保を図っていきます。			
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
	改良工事	一般競争入札	株式会社 石井建材	6,836,400
	計			6,836,400
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		該当なし

(備考)(1)事業ごとに作成すること。

(2)番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3)交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4)交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5)交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6)交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7)成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。